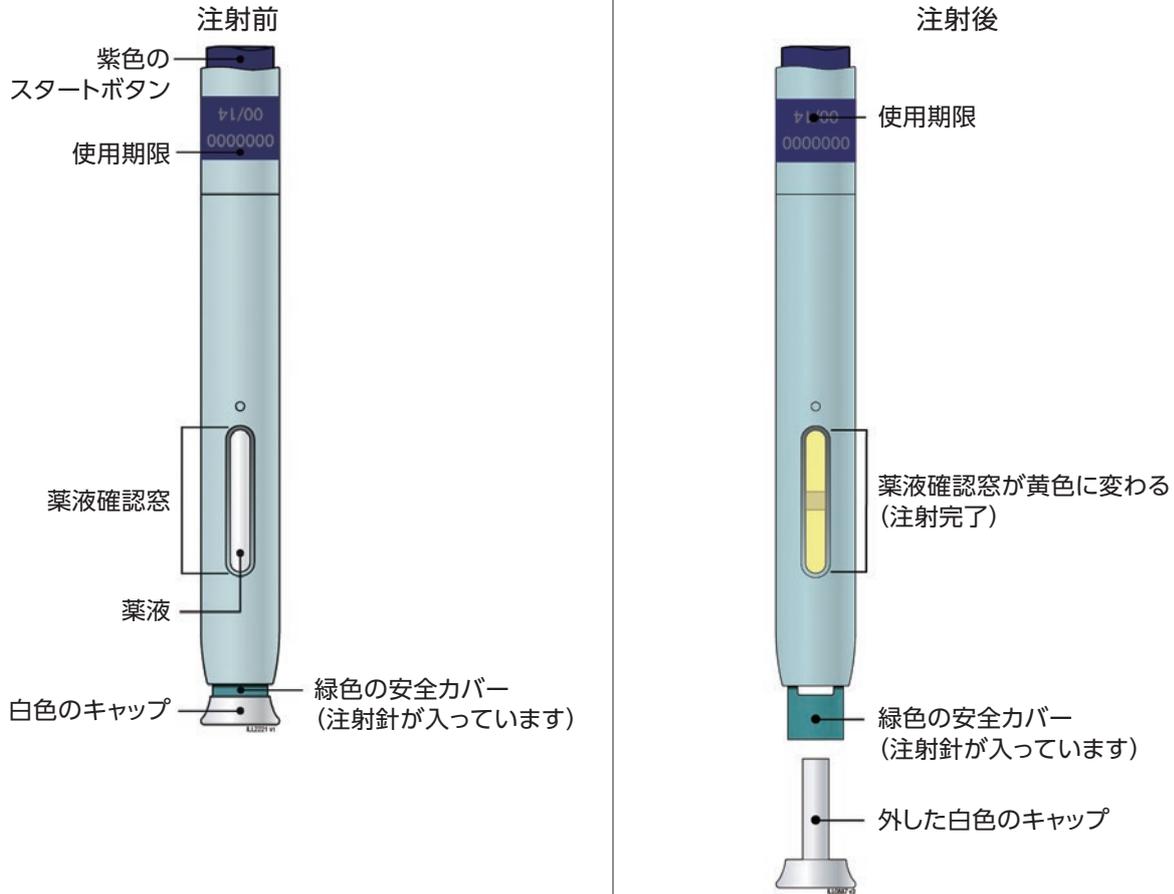


# アイモビーグ®皮下注70mgペン

## 取扱説明書

【製品の概要】この製品は、単回使用・使い捨てのペン型の機械式注入器に皮下注製剤アイモビーグ®(エレヌマブ)70mgを充填した製品です。

### 各部の名称



**重要：緑色の安全カバー内に注射針が入っています。**

### 重要

アイモビーグ®皮下注70mgペンを使用する前に、下記の重要な説明をお読みください：

#### ① 保管方法

- お子様の手の届かないところに保管してください。
- 外箱に入れたまま保管し、光や衝撃を受けないようにしてください。
- 冷蔵庫に入れ、2～8℃で保管し、凍結させないでください。  
冷凍庫など凍結する危険性のあるところは避けて、冷蔵庫のドアポケットなど、冷気に直接触れないところに保管してください。
- 冷蔵庫から取り出した後は、30℃を超えない場所で箱から出さずに保管し、7日以内に使用してください。
- 2～8℃の条件に保管できない場合(処方後の帰路など)は、温度が極端に高い場所や低い場所で保管しないでください。例えば、車のダッシュボードやトランクでの保管は避けてください。

#### ② 使用時の注意

- 医師等から訓練を受けていない場合は、注射しないでください。
- 外箱に表示した使用期限を過ぎている場合は、使用しないでください。
- 激しく振り動かさないでください。
- 注射の準備ができるまで白色のキャップを外さないでください。
- 凍結させないでください。凍結した場合は使用しないでください。
- 硬いところに落とした場合は使用しないでください。ひびなどが見えなくても部分的に破損しているおそれがあります。新しいアイモビーグ®皮下注70mgペンを使用してください。
- アイモビーグ®皮下注70mgペンにはラテックス由来の天然ゴムを使用していません。

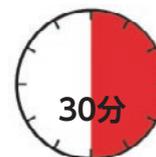
## ステップ 1：注射の前に

本品は、単回(1回)使用の充填済み機械式注入器です。

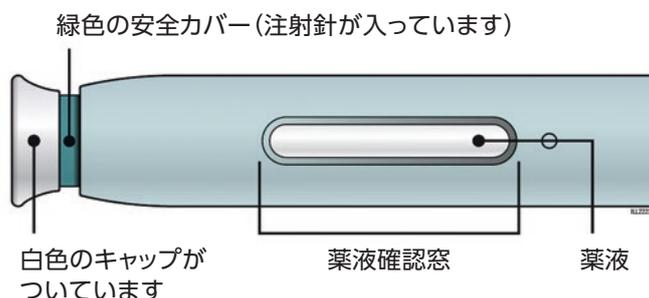
### A アイモビーグ®皮下注70mgペンの外箱を冷蔵庫から取り出し、30分以上待ちます。

1. 外箱のまま30分以上かけてアイモビーグ®皮下注70mgペンを室温に戻します。
2. 外箱を開けてアイモビーグ®皮下注70mgペンをそっと静かにまっすぐ持ち上げ、外箱から取り出します。

- 一度室温に戻したアイモビーグ®皮下注70mgペンは**再び冷蔵庫に戻さないでください。**
- お湯や電子レンジなどの熱源を使って**温めないでください。**
- 直射日光の当たるところに**放置しないでください。**
- アイモビーグ®皮下注70mgペンを**振らないでください。**
- 白色のキャップはまだ**外さないでください。**



### B アイモビーグ®皮下注70mgペンを点検します。



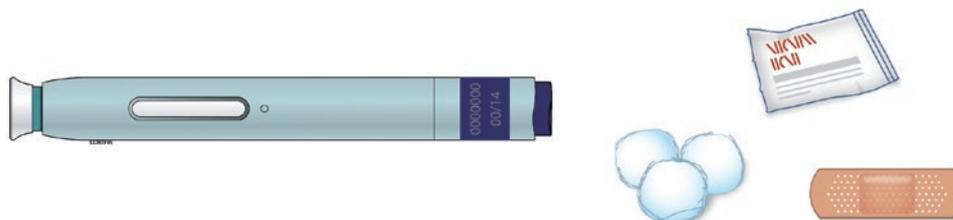
薬液確認窓の中の薬液が透明で、無色またはわずかに黄色であることを確認してください。  
使用期限を確認してください。

- 薬液が濁っている、変色している、あるいは塊や粒子が入っている場合は、**使用しないでください。**
- アイモビーグ®皮下注70mgペンにひびが入っている、割れているところがある場合は、**使用しないでください。**
- 誤って硬いところにアイモビーグ®皮下注70mgペンを落とした場合は、**使用しないでください。**
- 白色のキャップが抜けていたり、しっかりと取り付けられていない場合は、**使用しないでください。**
- 使用期限を過ぎたアイモビーグ®皮下注70mgペンは、**使用しないでください。**

### C 注射に必要なものを用意します。

手を石鹸でよく洗います。  
清潔で明るく平らな場所に次のものを置きます：

- 新しいアイモビーグ®皮下注70mgペン
- アルコール綿
- 綿球または滅菌ガーゼ
- 絆創膏
- 専用廃棄袋



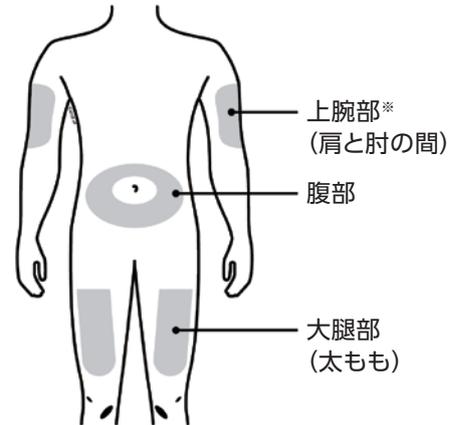
## D 注射する部位を決めて消毒します。

次の部位に注射できます：

- 大腿部(太もも)
- 腹部、ただしへそのまわり5cm以内は避ける
- 上腕部(肩と肘の間)の外側\*  
(この部位に注射できるのは医師等または訓練を受けた家族のみです)  
※上腕部の外側は患者さん自身が注射してはいけません。

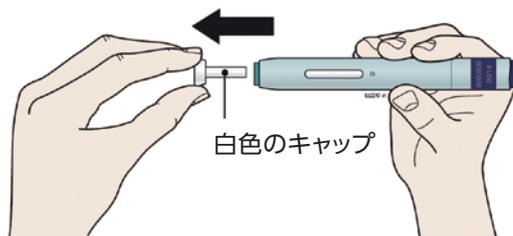
注射する部位をアルコール綿で消毒して、皮膚を乾かします。

- 注射するまで消毒した部位に再び触れないでください。
- 注射するたびに部位を変えてください。同じ部位に注射しなければならない場合には、前回注射した場所と同じ場所にならないようにしてください。
- 皮膚が敏感なところ、挫傷(ざしょう：打撲などにより皮膚表面の傷は少なく、皮下組織が傷ついた状態)、発赤(ほっせき：皮膚が充血して赤くなっている状態)、または硬結(こうけつ：柔らかい組織が病的に硬くなった状態)している部位に注射しないでください。
- 皮膚が盛り上がっている部位や厚くなっている部位、赤くなっている部位、またはうろこ状になった部位や、傷跡や妊娠線のあるところに注射しないでください。



## ステップ 2：準備をする

E 注射の準備ができれば、白色のキャップをまっすぐに引き抜きます。白色のキャップを外したら5分以内に注射してください。針内の薬液が乾き注射できないことがあります。



白色のキャップを引き抜いた際、注射針や緑色の安全カバーの先端に液滴がついていても問題ありません。

- 白色のキャップをねじったり、曲げたり、小刻みに揺らしたりしないでください。
- 一度外したキャップは元に戻さないでください。
- 緑色の安全カバーに指を入れないでください。
- 注射の準備ができるまで白色のキャップを外さないでください。

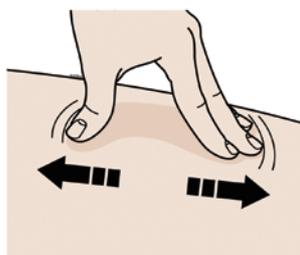
もし注射ができないときは主治医にご相談ください。

F 注射する部位(大腿部、腹部、上腕部の外側\*)を引き伸ばすか、またはつまんで、皮膚の表面を硬くします。

上腕部の外側に注射できるのは医師等または訓練を受けた家族のみです。

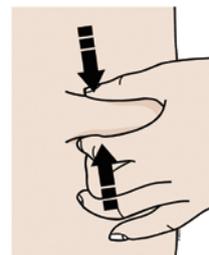
※上腕部の外側は患者さん自身が注射してはいけません。

引き伸ばす方法



または

つまむ方法



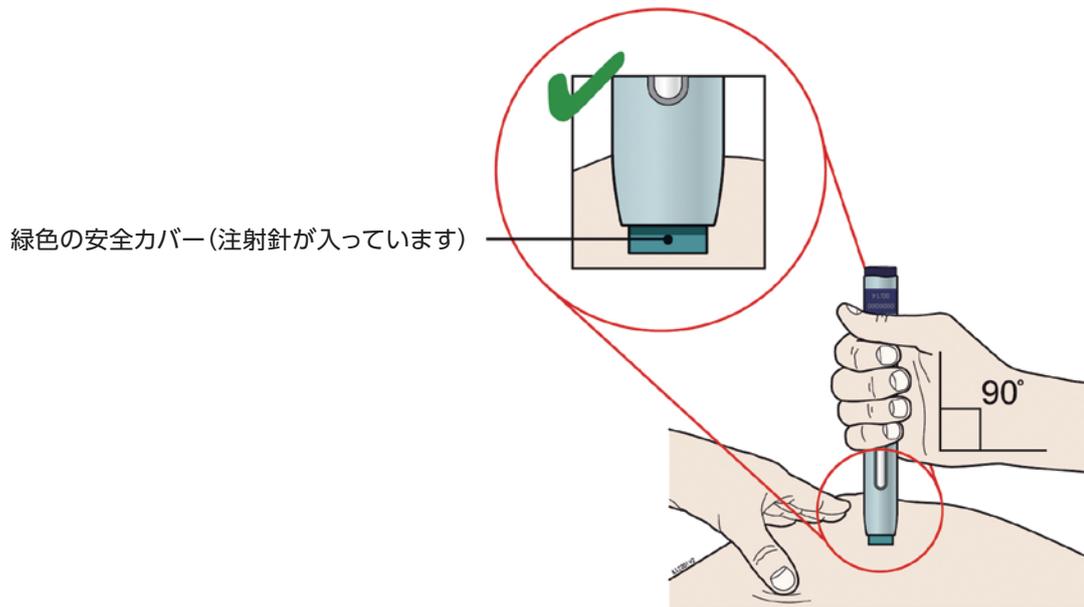
親指とほかの指を逆方向に動かして皮膚をしっかり伸ばし、5cmくらいの幅を作ります。

親指とほかの指で皮膚をしっかり5cm程度つまみます。

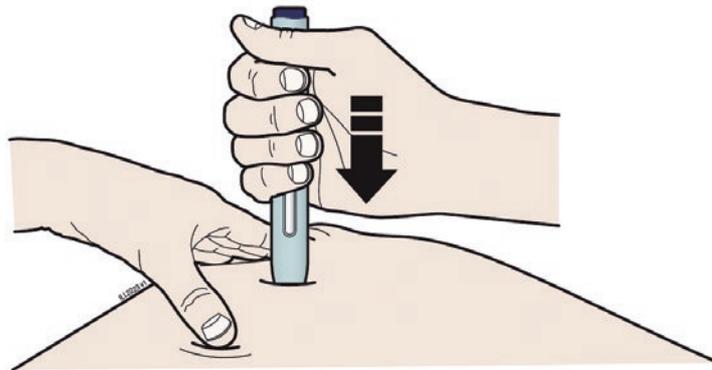
**重要：注射中は皮膚を引き伸ばしたままか、つまんだままにすることが大切です。**

### ステップ 3：注射する

- G 皮膚を引き伸ばしたまま、またはつまんだまま、白色のキャップを外したアイモビーグ®皮下注70mgペンを注射部位に直角にあてます。緑色の安全カバーの中に注射針が入っています。まだ紫色のスタートボタンには触れないでください。



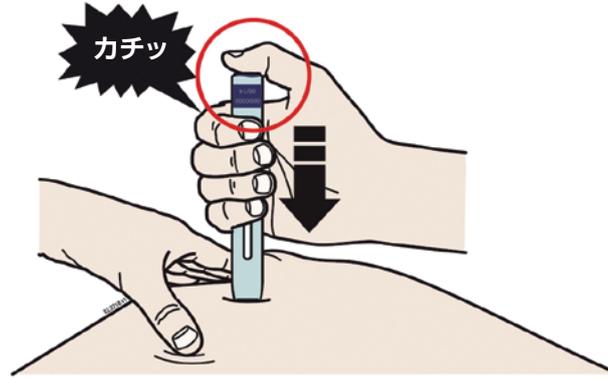
- H アイモビーグ®皮下注70mgペンが動かなくなるまでしっかりと皮膚に押しこみます。



**重要：**できるだけ下へ押しこみます。注射の準備ができるまで紫色のスタートボタンには触れないでください。

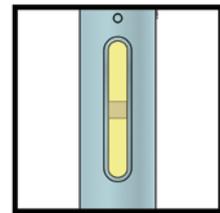
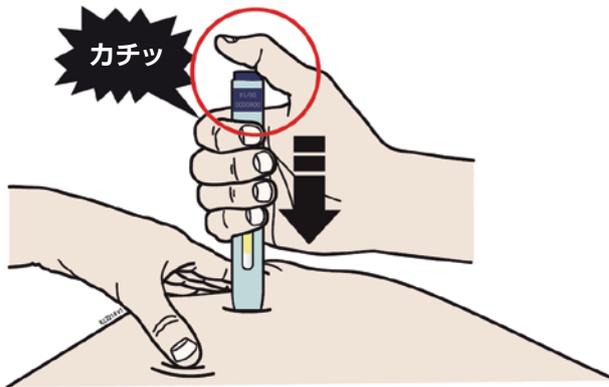
I

注射の準備ができれば、紫色のスタートボタンを押します。  
「カチッ」という音がします。

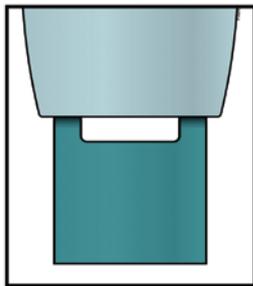


J

皮膚に押しあてたまま、親指を離します。注射時間は、15秒以内です。



注射が終了すると、  
薬液確認窓が黄色に変わります。  
(終了時に「カチッ」という音がします)



注意：アイモビーグ®皮下注70mgペンを皮膚から離すと、注射針は自動的に  
緑色の安全カバーで覆われます。

重要：薬液確認窓の色が黄色に変わらない場合や、薬液が注入途中と思われる場合は、薬液の全量が注射  
できていない可能性があります。すぐに主治医にご相談ください。

#### ステップ 4：終了

K

使用済みのアイモビーグ®皮下注70mgペンと白色のキャップを捨てます。

使用済みのアイモビーグ®皮下注70mgペンと白色のキャップは、使用後すぐに専用廃棄袋に捨てます。  
医療廃棄物として適切に廃棄できるよう、正しい廃棄方法については、医療従事者の指示に必ず従ってください。

アイモビーグ®皮下注70mgペンと専用廃棄袋は常にお子様の手の届かないところに保管してください。

- アイモビーグ®皮下注70mgペンを再使用しないでください。
- 外したキャップをアイモビーグ®皮下注70mgペンに戻したり、緑色の安全カバーに指を入れないでください。
- アイモビーグ®皮下注70mgペンや専用廃棄袋を再使用したり、家庭ゴミとして捨てないでください。

## L 注射した部位を確認します。

出血していたら、注射した部位を綿球または滅菌ガーゼでおさえて、止血してください。注射した部位を**もんだりこすったりしないでください**。必要に応じて絆創膏を貼ってください。

## よくある質問

### なぜ室温に戻す必要があるのですか？

冷たい温度のまま注射すると、注射部位に不快感を生じることがあります。それを防ぐために室温に戻してからの注射を推奨しています。

### 一度外したキャップを元に戻してはいけない理由を教えてください。

キャップを元に戻すことで、中の針が曲がってしまう可能性があります。誤って針が刺さるおそれがありますのでご注意ください。

### 注射部位に押しあてる前に紫色のスタートボタンを押してしまったら、どうしたらよいですか？

まず、紫色のスタートボタンから指を離します。それからアイモビーグ<sup>®</sup>皮下注70mgペンを注射する部位にあて、ペンが動かなくなるまでしっかりと皮膚に押しこむと、もう一度紫色のスタートボタンを押すことができます。

### 注射する部位を決めるときに皮膚の上でアイモビーグ<sup>®</sup>皮下注70mgペンを動かしてもよいですか？

紫色のスタートボタンを押さなければ、注射する部位のまわりでアイモビーグ<sup>®</sup>皮下注70mgペンを動かしても問題ありません。ただし、紫色のスタートボタンを押して、緑色の安全カバーがアイモビーグ<sup>®</sup>皮下注70mgペンに押しこまれたら、注射が始まります。

### 紫色のスタートボタンが押せない場合は、どうしたらよいですか？

緑色の安全カバーをしっかりと皮膚へ押しこみ、再度スタートボタンを押し直してください。

### 注射を始めた後で紫色のスタートボタンを離してもよいですか？

スタートボタンを離しても問題ありません。ただし、注射中はアイモビーグ<sup>®</sup>皮下注70mgペンをしっかりと皮膚にあてたままにしてください。

### 親指を離すと紫色のスタートボタンは出てきますか？

注射中に親指で押ししていた場合は、親指を離しても紫色のスタートボタンが出てこないことがあります。問題ありません。

### アイモビーグ<sup>®</sup>皮下注70mgペンを15秒間皮膚に押しあてても2回目の「カチッ」という音が聞こえなかった場合はどうしたらよいですか？

注射終了時(2回目)の「カチッ」という音が聞こえなかった場合でも、薬液確認窓が黄色に変わっていれば、注射が終了しているので問題ありません。薬液確認窓が黄色に変わっていない場合は、すぐに主治医にご相談ください。

### 予定日に注射を忘れてしまいました。どうしたらよいですか？

必ず主治医に連絡し、いつ注射したらよいか指示を受けてください。

### アイモビーグ<sup>®</sup>皮下注70mgペンや注射について質問がある場合にはどこに問い合わせればよいですか？

主治医にご相談いただくか、下記のお問い合わせ窓口にご連絡ください。

お問い合わせ先(患者さん、一般の方向け)  
メディカルインフォメーションセンター  
電話番号：0120-952-206  
受付時間：9時～17時30分  
(土、日、祝日、会社休日を除く)

## 記号一覧



再使用不可



注意

患者様向け冊子や電子化された  
添付文書を参照してください



ロット番号